

# そよかぜ 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年3月6日

事業所名 文京区児童発達支援センター児童発達支援 そよかぜ

討議年月日:令和6年1月29日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえ改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		活動内容によって複数の部屋に分かれて活動し、密にならないようスペースや換気等配慮しています。	
	2 職員の配置数は適切である	○		活動内容やお子さんの様子に合わせて、日々の配置を調整しています。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている。	○			テラスに段差があるため、特に移動時はお子さんの安全面に留意しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		感染症拡大防止対策を、看護師中心に徹底するように実施しています。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		目標設定及び振り返りのための打ち合わせは高い頻度で行っています。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者の意向確認及び業務改善のため、第三者評価を受審しました。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		事業所向け自己評価を実施し、結果を保護者へ配布及びホームページで公開します。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		外部機関による第三者評価を受審しました。第三者評価は3年に一度受けています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
業務改善	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		職員の資質向上のための外部研修(Webを含む)や、研修報告の他に、係内での自主研修も行っています。	
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		保護者からの聞き取りや通所での子どもの様子をもとに、必ず複数人(専門職含む)で多角的にお子さんの状況を把握しアセスメントを行った上で、支援計画を作成しています。	
適切な支援の提供	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		子どもの発達の様子や発達検査の結果等を基に、係内で状況を共有し、支援に生かしています。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		支援計画の項目については、ガイドラインを基に、子どもの支援に必要な項目を選択し設定しています。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		計画に沿った支援を行い、半年に一度見直しをしています。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		活動プログラムは、職員間で相談しながら立案し、実施にあたっては、子どもの様子に合わせて日々調整し、配慮事項や工夫する点を変えるようにしています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		季節や行事的な内容も組み合わせて、様々な活動が行えるようにしています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		お子さんの様子に合わせて、個別的に配慮しながら、集団の中で安定して過ごせるようにしています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		支援開始前には打ち合わせを行い、その日の支援内容や役割分担、動きの確認をしています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		支援終了後には振り返りを行い、支援の向上を図るために検討を重ね、次回への支援へと繋げています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		打ち合わせの内容を記録し、支援内容に関しては、個別日誌にして記録をとっています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		日々の振り返りとともに6か月に一度支援計画に基づいた支援内容の振り返りを実施しています。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		サービス担当者会議には、適切な職員が参画できるよう配慮しています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		必要に応じた情報共有を、個人情報の取り扱いに注意しながら、保護者の了解を得て行っています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		必要に応じて連携した支援を行う体制を整えています。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		嘱託医及び指導医師との連絡体制を整えています。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		必要に応じて連携し、支援につなげています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		必要に応じて連携し、支援につなげています。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		他の事業所の見学や研修に参加しました。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○	感染症対策のため、交流保育の実施は見合わせていましたが、今後の実施は検討していきます。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		必要に応じて参加しています。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		日頃から連絡帳や面談の中で伝え合い、共通理解が持てるように心がけています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		ペアレントトレーニングのプログラムは実施していませんが、保護者向け講演会の実施や、保護者との相談を必要に応じて行っています。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		利用開始前の契約面談や契約説明会にて、説明を行っています。運営規定は施設内に掲示もしています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		利用開始前及び、半年に一度のモニタリング時に面談を行い、保護者から同意を得ています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		保護者面談は年3回程度実施、その他必要に応じて行っています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		クラス毎の保護者会開催時に、保護者懇談を行いました。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		保護者から相談を受けた際には、出来る限り迅速な対応を心がけています。また、重要事項説明書に相談・苦情窓口を掲載し、保護者へ周知しています。	
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		そよかぜ便りを月1回発行しています。必要に応じて行事に関するお便りを発行しています。	
	38 個人情報の取扱いに十分注意している	○		個人情報に際した業務では、ダブルチェックを行い、取り扱いには十分注意しています。	
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		保護者や子どもの様子に合わせた伝達手段をとるようにしています。	
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		行事の際に招待しています。	
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		教育センター内のマニュアルに基づいた研修や共有をしています。保護者に対して地震災害時の対応や感染症について簡潔に説明しています。	
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		毎月、地震・火災・Jアラート等の非常災害を想定し、避難訓練を行っています。また、職員間で災害時の動きを確認し、救命研修にも参加しています。教育センター防災訓練にも参加しました。	
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		看護師を中心に保護者から聞き取りを行い、状況確認を行っています。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		看護師を中心に保護者から聞き取り及び献立確認を行い、医師の指示書に基づき対応しています。	
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		児童発達支援センター共通のヒヤリハット事例記録シートを作成し、全職員が閲覧できるようにしています。また、それについて日々の打ち合わせや職員会議でも、情報共有しています。	
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		虐待防止の責任者の設置、職員研修の定期的な実施、虐待防止委員会の開催など、虐待防止のための体制を整えています。また、委員会の内容を全職員で共有しています。	
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		身体拘束等適正化対策検討委員会を開催し、適切な対応について、組織的に決定し、全職員で共有しています。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。